

学生と教員の見方

【学生の見方&考え方】

(4年 稲葉風花)

この夏ハワイ研修に行ったが、ホームレスの人が多く、道に座り、お金を求めている人を自にした。

ハワイのホームレス問題は、単なる路上生活者の増加ではなく、複数の社会・経済要因が重なった深刻な構造的課題。最大の要因は全米でもトップクラスの住宅費の高さで、平均家賃や生活コストが地元住民の収入と釣り合っていないと聞く。そのため、フルタイムで働いていても住居を確保できないワーキングプア型ホームレスが多く、そのほかにも家族連れや単身高齢

ハワイの不動産事情2025 ③

者、退役軍人など、属性の多様化が進んでいるようだ。

さらに、観光業中心の経済構造が住宅不足を招き、短期バケーションレンタルの規制の強化などが有効だと思つた。

増加が一般向けの賃貸物件を圧迫している。精神疾患や薬物依存、家庭内暴力の増加による避難的なホームレスも多く、医療や福祉の支援体制も十分とはいえない。移住による流入もあり、地域の設備や環境が追いついていない状況である。

この問題点を解決するためには、まず手頃な価格の住宅供給を増やす必要が



【アピールポイント】
趣味は小学5年生から始めたソフトラテニスです。また、休みの日は不動産のアルバイトをしています。

ある。公営住宅の新設、空き地や未利用地を活用した迅速な住宅開発、短期バケーションレンタルの規制の強化などが有効だと思つた。

また、シエルターだけが、ハワイのホームレス問題解決につながると思

う。地域住民やNPO、行政が連携し、ホームレスを排除するのではなく社会に再統合する仕組みを作ることが、ハワイのホームレス問題解決につながると思

構造的な課題「ホームレス」

社会に再統合の解決策を

大きなトラジシヨナルハウ

ジングを増やし、安定した生活基盤を築ける環境を整えることも重要である。加えて、就労支援、精神医療、依存症治療、家族支援などのケアを強化し、個々の事をめぐる問題は全米に共通するが、特にハワイ州は深

【教員の展開】
(上地聡子講師)

24年、全米でホームレス状態にある人の数は前年比18%増加した。ホームレス

入など新たな取り組みに着手するハワイ州が今後、住民の社会福祉と観光業との間でどのような舵取りをし

ていくのか、注視している。

刻だ。人口に占める割合は10万人中805人と全州で一番高く、ワシントンDCやニューヨークを抜いている。ここ数年の増加率も一

番高く、19年には10万人中440人だったのが5年で36%も増えている。研修の引率として22年から継続的にオアフ島を訪問しているが、ホームレス状態の人をワイキキ周辺でもよく目にするようになった。

た。ただし、景観のために観光地の周りからテントを撤去するなど、ホームレスをめぐる課題と観光ビジネスは相克する側面も大きい。今回は相克する側面も大きい。今回訪問した高級コンドミニアム地区では、開発地区の路上にいる不審者は地区にホームレス状態の家族が19%増加した。この場合、子ども健康や教育への影響が次世代に持ち越されてしまつた。ネイティブ・ハワイアンやマイクロネシアから入るなど新たな取り組みに着手するハワイ州が今後、住民の社会福祉と観光業との間でどのような舵取りをし